

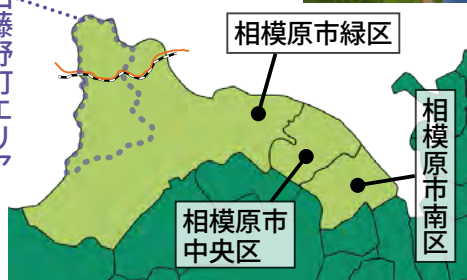
特別企画

「藤野芸術村」のいま

8面で連載している街並みウォッチング、今号ではちょっと目線を変えて、相模原市緑区の旧藤野町エリアの「いま」をルポしました。ここは戦時中、日本を代表する近代画家らがこぞって疎開し、創作活動が続けていた歴史的背景から、1980年代に県が主導した「いきいき未来相模川プラン」において「藤野ふるさと芸術村構想」が提唱され、恵まれた自然環境を活かしつつ、独創的なまちづくりが進められてきました。多種多様な芸術・交流イベントの開催や、県立藤野芸術の家のオープン（1995年）、2005年には国の「教育芸術特区」の認定を受けて私立の小・中・高一貫校（シュタイナー学園）が開校するなか、人が人を、まちが人を呼び、芸術家やクリエイター、自然志向の移住者が、今なお増え続けています。

2007年に相模原市に編入され、その3年後には政令指定都市に移行して、行政とのかかわり合いは変化した面も合ったようですが、「民」による芸術村づくりは一段と広がりを見せていると言います。そんな、のどかな山里で繰り広げられる人々の活気に満ちた営みをレポートします。

旧藤野町エリア



相模原市緑区

相模原市中央区

相模原市南区



インデックス

1-3,8面：特別企画「藤野芸術村」のいま

- 「藤野」ってこんなところ ……2～3面
- イベント情報
「おもしろ隠れ里ふじのに行ってみる」
……8面

4-5面：第27回住生活月間中央イベント

「スーパーハウジングフェア」が神奈川・横浜にやってくる！

7面：TOPIC / 事務局だより

「藤野」ってこんなところ

東京都八王子市



相模湖畔で長らく放置され、廃墟となっていたリゾートホテルの地下駐車場のスペースを活用し、2年前に開設されたクリエイティブ拠点が「藤野サンヒルズ」。さまざまな分野で活動する芸術家やアーティストが安く間借りして、思い思いのアトリエを構えています。岐阜から移ってきたという陶芸作家さんが、「全くジャンルの異なるクリエイターの皆さんと接しながら創作にあたる環境は、とても刺激があります」と話していたのが印象的でした。

こちらは、県道から県立藤野芸術の家へ至る進入路に面して2010年にオープンした「ふじのアート・ヴィレッジ」。クラフト作家などの作品を展示・販売するコンテナギャラリーが九つと、くつろぎどころの野山の食堂では、金・土・日曜限定で陶芸家がこねるこだわりのピザも味わえます。



◀無農薬の有機栽培や会員制の体験農園を営む農業生産法人、藤野倶楽部が開設した農園レストランが「百笑の台所」。テニスコートやバーベキュー場も備わり、レジャー、イベントスペースとしての活用も多いそうです。

▼この施設で今年8月に開催された「Back to School — 誰にも教えたくない林間学校 —」。もともと藤野と縁のあったクリエイター集団 ROOT が、毎年こっそり開校している林間学校で、スペシャルワークショップやレクリエーションが2日間に渡って実施されています。地元住民はもちろん、遠方からの参加者のため、宿泊施設やテント設営スペースを確保して、泊まりがけで遊びにこられるようにしています。4年目を迎えた今年のテーマは「発表」。タップダンスやジャンベ、歌など、子ども連れでも楽しめる発表ワークショップはとても人気があり、盛り上がっていました。



木製家具の製造販売を手がけるBC工房の「ふじのリビングアート」では、デザイン性に富むテーブルや椅子の展示に加え、地元芸術家とのコラボ企画も行われています。

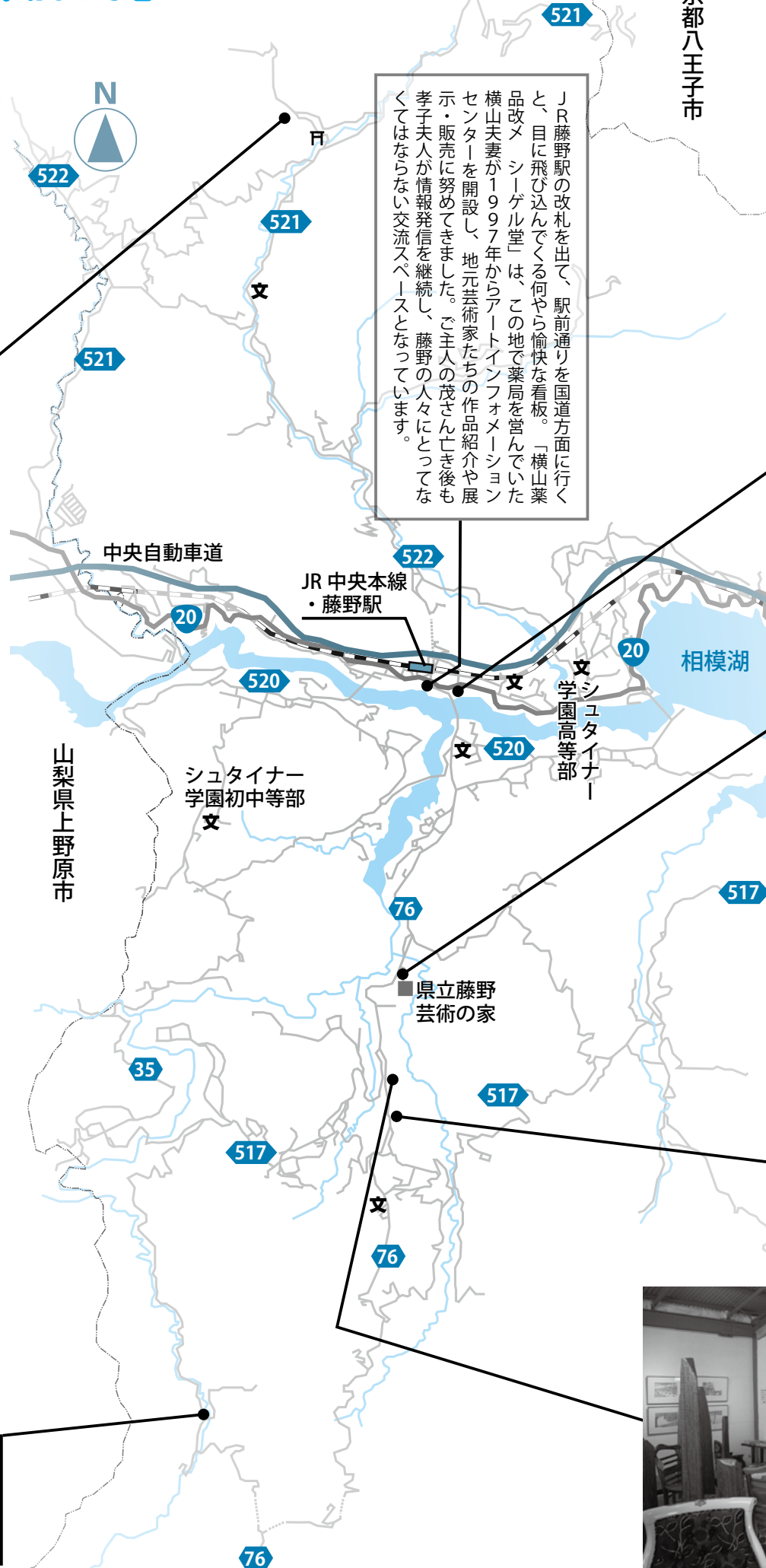


1989年に来日し、この地に伝わる藍染め・織物・養蚕の技術を学んだカナダ出身のブライアン・ホワイトヘッドさん。佐野川の鎌沢地区にある築150年の古民家に移り住み、現在は職人としての道を極めながら、海外からゲストを招いて伝統技術やものづくりの文化に触れてもらう体験事業に情熱を注いでいます。



シュタイナー学園の開校などによって、若い子育て世代の移住者が増え、まちの活力が安定して維持されるようになったことはいうまでもありませんが、自然に寄り添って建てられる藤野の住まいは表情も豊か。写真の集落は、在宅ケアを支援する診療所と住宅が軒を並べ、統一感のある白壁の外構が目を引きま。また4年前には、パーマカルチャーを追求する人たちがコーポラティブ方式で長屋風の住宅を建て、「シェアする暮らし」を実践しているといひます。

藤野の隠れ里と言われる綱子地区では、「廃材エコヴィレッジ ゆるゆる」なるプロジェクトが新たにスタート。廃工場をリノベーションしてアトリエやショップとして活用するとともに、地域通貨の流通や持続可能な里山コミュニティづくりに取り組んでいます。



JR藤野駅の改札を出て、駅前通りを国道方面に行くと、目に飛び込んでくる何やら愉快な看板。「横山薬品改メ シーゲル堂」は、この地で薬局を営んでいた横山夫妻が1997年からアトインフオマーションセンターを開設し、地元芸術家たちの作品紹介や展示・販売に努めてきました。ご主人の茂さん亡き後も孝子夫人が情報発信を継続し、藤野の人々にとってなくてはならない交流スペースとなっています。



第 27 回住生活月間中央イベント 「スーパーハウジングフェア」が神奈川・横浜にやってくる！

10 月は国が提唱する「住生活月間」。その中央イベントである「スーパーハウジングフェア」は全国の都市を巡って行われ、第 27 回を数えることしは、神奈川・横浜が開催地となりました。横浜市中区の横浜産貿ホール マリネリアを会場に、地元企業や関連団体による「住まいみらい展」も同時開催し、10 月 17 日（土）・18 日（日）の 2 日間、多彩なイベントが催されます。

◆ 展示ブース

17 日（土）10：00～17：00
18 日（日）10：00～16：00

出展者数は地元企業・団体や中央イベント参加団体を合わせて約 60。それぞれに趣向を凝らし、これからの住生活、住環境を予感させる先端技術の紹介や情報発信が行われます。また、神奈川県産品の販売コーナーや、親子連れでも楽しめる特別展示もいろいろと用意されています。



ドイツ製の鉄道模型



水素で走る燃料電池自動車



木造の応急仮設住宅

◆ 講演会コーナー

場内の一角に設けられたステージ席では、次のタイムテーブルでためになる講演・セミナーが予定されています。各講演とも定員は 100 人程度。予約不要で聴講できます。

17 日（土）

開催時間	講演内容 ※ カッコ内は主催者
10：00～11：00	空き家対策セミナー（神奈川県県土整備局住宅計画課）
11：00～11：30	マンション管理セミナー（神奈川県県土整備局住宅計画課）
15：00～16：00	イタリア・フィレンツェにみる歴史的住宅の住まい方（神奈川県建設業協会 横浜支部）

18 日（日）

開催時間	講演内容 ※ カッコ内は主催者
10：30～11：30	住宅設計と環境デザイン（横浜市建築局建築環境課）
12：00～13：00	一級建築士による落語つき講座「悪質リフォーム詐欺に遭わないために」
13：30～14：30	ロボットと共生する建築・都市のデザイン（神奈川県建築士会）
15：00～16：00	住宅リフォームの進め方（かながわ住まいまちづくり協会）

10 月 17 日（土）・18 日（日）
横浜産貿ホール マリネリア

住まいみらい展を同時開催

「地球にやさしく、安全で健康に暮らせるこれからの住まい」を見据え…

◆ アトラクション等

屋外の前面広場ではお楽しみ企画が目白押し。3つの体験型イベントに加え、歌や踊り、ジャグリング、さらに「特命かながわ発信隊」と称し、吉本若手芸人も登場します（雨天中止）。また両日とも、先着 300 名様に、横浜三塔（キング・クイーン・ジャック）をモチーフとした携帯ストラップをいずれか 1 点プレゼント。

かまぼこつみき

17 日（土）10：00～17：00
18 日（日）10：00～16：00

親子そろって
楽しもう！



カンナ削り実演・体験

17 日（土）11：00～14：30



こども空間ワークショップ

18 日（日）14：00～16：00
（日本建築家協会 JIA）



2 日間とも
先着 300 名様に
プレゼント

ほかにも行われる住生活月間関連イベント

イベント名	開催日時／会場	主催／問い合わせ先
建築士会活動交流会 「横濱人・まち・デザイン」	10 月 17 日（土） 横浜情報文化センター 6 F	神奈川県建築士会 ☎ 045-201-1284
団地再生シンポジウム	10 月 18 日（日） 神奈川県民ホール 6 F	神奈川県住宅供給公社団地再生 事業部事業企画課 ☎ 045-651-1957
建築専門書展 2015 展示会	10 月 17 日（土）～11 月 6 日（金） 安協サービスセンター 2 F	神奈川県建築安全協会 ☎ 045-212-3123
UR 技術・研究報告会	10 月 21 日（水）大阪・テイジンホール 10 月 28 日（水）東京・日経ホール	UR 都市機構技術コスト管理部 ☎ 045-650-0659
間取り探偵 ～懐かしいアニメの主人公の自宅再現～	8 月 16 日（日）～10 月 25 日（日） ハウスクエア横浜	NPO 横浜住宅リフォーム 促進協議会 ☎ 045-912-4110

※各イベントの内容、スケジュールは予告なしに変更される場合もございますことを、予めご了承ください。

【問い合わせ】

神奈川・横浜 住まいみらい展実行委員会事務局（かながわ住まいまちづくり協会）☎ 045-664-6896

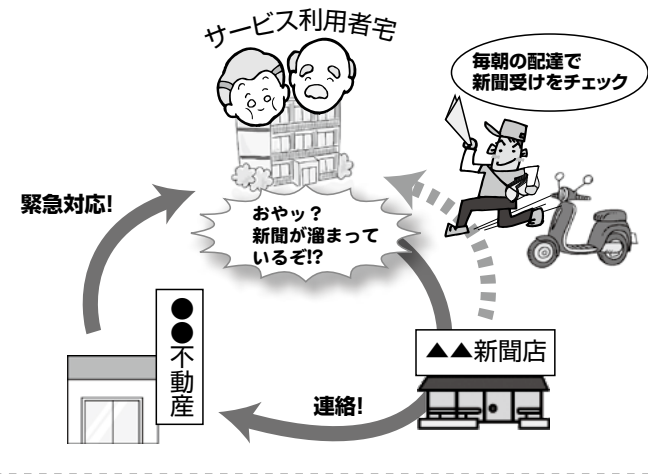
Topics

新聞配達見守り7年で利用者 186 人に

県内全域への拡大が目標

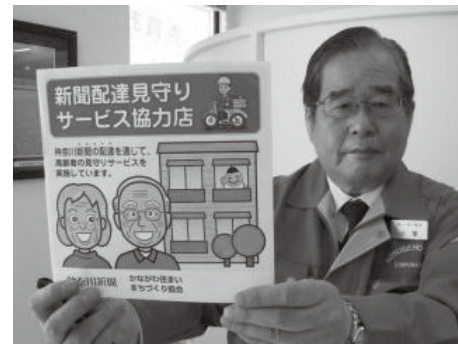
神奈川県内の新聞販売店と不動産店が連携した「新聞配達見守りサービス」が、開始から7年目に入りました。神奈川県新聞を配達する際に、お年寄りの独り暮らし世帯の郵便受けを確かめて緊急事態に備える取り組みで、利用者は2015年9月1日現在で累計186人を超えました。救命につながった事例もあり、県内全域への拡大が今後の目標です。

新聞配達見守りサービスの仕組み



同サービスは、「かながわ住まいまちづくり協会（まち協）」と神奈川県新聞社が2009年2月に開始しました。賃貸住宅に入居し、見守りが必要なお年寄りを対象に、見守りツールとして神奈川県新聞を使います。サービス利用者の郵便受けに新聞が1～3日分たまった場合、新聞販売店が不動産会社とまち協に連絡し、素早く対応する流れになっています。2015年9月1日現在で、利用者累計は186人に上りました。

サービスが救命につながった事例として、3年ほど前に、大和市内のアパートのポストに新聞がたまっているのが見つかり、連絡を受けた不動産店が急行し、室内で倒れていた60代男性が救急搬送されて、一命を取り留めました。同市内では昨年夏にも80代女性が、室内で転倒骨折した事態を早期発見し、入院につなげたケースもあります。



サービスを積極的に取り入れている小菅不動産（同市上和田）専務の小菅明さん（64）＝写真左＝は「高齢入居者とアパートオーナー双方の

不安を払拭でき、安全・安心につながる」とメリットを話しています。

まち協によると、独り暮らし高齢者の部屋探し相談は年々増えています。新聞配達見守りサービスは現在、県央地区を中心に展開されていますが、関係者は「不動産店の協力を得ながら、県内全域に広めていきたい」と話しています。問い合わせは、まち協 ☎ 045（664）6896。（レポート：神奈川県新聞社・お客様ふれあい室 菱倉昌二）

イベント案内

事業者様向け・CPD 認定講習

省エネ技術のスキルアップ目指す

神奈川県住宅・建築関係事業者協議会が国の補助（住宅市場技術基盤強化推進事業）を受けて取り組む住宅省エネルギー技術の講習会が、今年度も始まりました。

これは、新築住宅における省エネルギー基準適合率を平成32年度までに100%にするという目標を踏まえて、木造住宅生産にかかわる技術者・技能者のスキルアップを図ろうというもの。断熱施工に携わる「施工者向け」と、省エネ基準や設計、施工方法等をトータルに習得する「設計者向け」の2種類の講習会を設定し、受講料はいずれも1,000円。9:30～17:00までのカリキュラムが組まれ、講習後に終了考査を実施し、合格者には修了証が発行されます（希望者のみ、別途発行手数料がかかります）。

10月以降の実施スケジュールは次表のとおりで、定員は各会場とも50人です。

【施工者向け】	
会 場	実 施 日
横浜A会場／ 神奈川県建設会館 2F 講堂	2015年10月19日(月)
	11月6日(金)
	12月3日(木)
	2016年1月20日(水)
横浜B会場／ 建設プラザかながわ 2F 会議室	2015年11月29日(日)
	2016年2月7日(日)
川崎会場／ てくのかわさき 2F ホール	2015年12月6日(日)
横須賀会場／ 神奈川土建横須賀三浦支部 3F 会議室	2015年12月13日(日)
相模原会場／麻溝台自治会館	2015年11月22日(日)
藤沢会場／湘南建設組合	2016年2月14日(日)

【設計者向け】

会 場	実 施 日
横浜会場／ 神奈川県建設会館 2F 講堂	2015年11月9日(月)
	12月11日(金)
	2016年1月28日(木)
	2月26日(金)
相模原会場／ ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	2015年10月9日(金)

ちらし兼FAX・郵送用の申込票は、神奈川県住宅・建築関係事業者支援協議会のホームページからpdfファイル入手できます（http://www.machikyo.or.jp/jigyosyashien/ene_seminar.html）。ネットからの申し込みは、全国版「住宅省エネルギー技術講習会」のホームページから行えます（<http://www.shoene.org/>）。

電話での問い合わせは、神奈川県住宅・建築関係事業者支援協議会事務局のかながわ住まいまちづくり協会 ☎ 045-664-6896 へ。

「長寿命化リフォーム」テーマにシンポ

「住宅向上リフォームとこれからのビジネスモデル」をテーマとした平成27年度住宅の長寿命化リフォームシンポジウム（主催・一般社団法人住宅リフォーム推進協議会）が、東京・大阪を会場に開催され、参加者を募集中です。

東京会場は10月9日（金、13:00開場）、東京都文京区のすまい・るホールで開催され、定員は250人。大阪会場は10月29日（木、13:00開場）、大阪市中央区の大阪ガス御堂筋東ビル3階ホールで開催され、定員は150人。参加費は無料。

両会場とも、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授の松村秀一氏が「住関連産業の大転換一箱の産業から場の産業へ」と題して基調講演。住宅リフォーム推進協議会事務局長の庄司桂弥氏の事例紹介を経て、松村氏によるパネルディスカッションを実施予定。ネットでの申し込みは、同推進協議会のホームページから（http://www.j-reform.com/event/symposium_choju.html）。電話による問い合わせは ☎ 03-3556-5430 へ。

住まいとまちづくり VOL.27

2015年9月30日発行

発行／公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会

〒231-0011 横浜市中区太田町2-22 神奈川県建設会館4階

☎ 045-664-6896 FAX 045-664-9359

<http://www.machikyo.or.jp/>

E-mail admin@machikyo.or.jp

発行人／寶積 泰之

編集責任者／塚田 操六

まち協・事務局だより

◆ 定時社員総会を6月に行いました

公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会の平成27年度定時社員総会が、2015年6月15日、横浜市中区の開港記念会館で行われました。この日承認された平成26年度の事業報告や決算書は、ホームページで情報公開しています。



総会終了後、新任のあいさつを述べる塚田操六専務理事

【計報】 田邊 邦男 (たなべ・くにお) さん

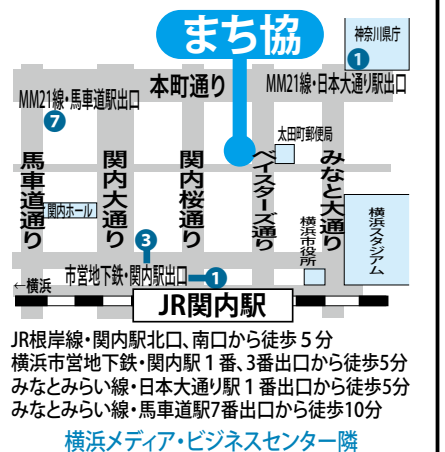
当協会マンションリフォーム相談員でNPO横浜マンション管理組合ネットワーク（浜管ネット）会長の田邊邦男氏が2015年9月4日、ご家族の見守る中逝去されました。（享年71）

田邊氏は、まち協の社団法人化（平成7年度）以来、当協会のマンションリフォーム相談に携わり、歴代マンション管理ガイドブックの執筆のほか、セミナーの講師など当協会のマンション管理関連事業において、常に中核を担ってこられました。

一方、神奈川県内におけるマンション管理組合ネットワークの構築にもご尽力され、まち協のみならず神奈川県マンション管理組合の支援体制の中で正に不可欠の存在であったといえます。

また、本年度は自らが会長を務められる浜管ネットが節目の20周年を迎え、ますますご活躍が期待されていたところでした。このたびの計報に際し、謹んで哀悼の意と生前のご功績に対して心からの敬意を表するとともに、当協会としても氏の意思を引き継いでまいる所存です。

（写真は本紙26号インタビューに際して、2015年3月に撮影）



おもしろ隠れ里 ふじの に行ってみる

ふじのイベント情報
2015年10月～11月

ふじのの人は、みんなお祭りが大好きです。毎週末、あちらこちらで大小さまざまなイベントが開催されています。そんなふじのの、地元民がおすすめする秋のすてきイベントをご紹介します。いったいどんなまちなのか、ぜひ体感しにきてください！

10/3・4

第24回 藤野村歌舞伎公演

日時：3日(土) 開場 12時 開演 13時
4日(日) 開場 12時 開演 13時

会場：神奈川県立藤野芸術の家 クリエーションホール
料金：入場無料 出演：藤野歌舞伎保存会



村歌舞伎は、かつて全国各地の農村で盛んに行なわれ、ここ藤野でも人気の娯楽だったと言われています。一時は途絶えたものの、多くの賛同者を得て復活。毎年定期公演が開催されるようになりました。今年で24回目。子どもから長老まで、たくさんの地域住民が参加する本格的かつアットホームな舞台です。

10/11・12

ぐるっとお散歩篠原展

日時：11日(日) 時間未定
12日(月・祝) 時間未定

会場：篠原地区全域

<https://www.facebook.com/groups/1553558574876052/>



牧野の篠原地区で開催される人気のお散歩イベント。廃校を再活用した施設「篠原の里」を中心に、ごはん屋さん、野菜や加工品の販売、写真展、作品展、コンサートなど、各会場で工夫を凝らした催しが開かれます。歩いて巡るイベントなので里山の暮らしや自然の美しさをじっくり味わうこともできますよ。

10/25

藤野ふる里まつり

日時：25日(日) 10時～15時
会場：名倉グラウンド(相模原市緑区名倉1000)
藤野ふる里まつり実行委員会(藤野商工会内)
042-687-2138



60以上の地元企業や各種団体が出店する、藤野地域では最大級のイベントです。大バザールでは、飲食や地場野菜、特産品や手づくり品のお店がズラリ。各団体の活動紹介やワークショップ、ステージ部門での発表会などもあります。商工会青年部による子どもコーナーもあり、家族でなくても1日中楽しめる内容です。

11/23

秋の牧郷収穫祭

日時：23日(月・祝) 11時～
会場：旧牧郷小学校グラウンド
(相模原市緑区牧郷7029)

牧郷豆の会 <http://www6.plala.or.jp/mrng/>



牧郷地区の地域おこし団体「あすの牧郷をつくる会」が主催する収穫祭。無農薬野菜の販売や、自家製麺でつくるやきそばやかき揚げうどんなど、おいしいものがいっぱい！ 去年は、和太鼓の演奏や地元ミュージシャンのライブもありました。噂を聞きつけて都会からも人がくる、隠れ人気イベントです。

11/1～30

サニーサイドウォーク

日時：11月1日～30日まで(会場によってオープン日が異なります) 会場：日連地区全域
<https://www.facebook.com/sunnysidewalk>



11月の1ヶ月間、日連地区にあるお店やオープンハウスで、作品展や販売、ライブ、ワークショップなどが行なわれるサニーサイドウォーク。藤野駅から歩けるエリア内での開催ということもあり、お散歩型クラフトマーケットとして、着々とファンを増やしています。ただし、1ヶ月間、すべての会場がオープンしているわけではなく、各会場のオープン日はそれぞれ異なります。事前にチェックしておきましょう。週末は開いている会場が多いので、やはり週末が狙い目かも。11月初旬には紅葉も始まっています。

このページは、ふじの在住のアーティストやクリエイターでつくりました。

編集・ライティング：平川友紀(<http://manbou-apartment.tumblr.com/>)

デザイン：山田大介 イラスト：一條おろち(<http://1jouoroti.blog.shinobi.jp/>)

写真：三宅岳(村歌舞伎・篠原展)／袴田和彦(ふる里まつり・収穫祭・SSW)